



立川ひろとしからの手紙



立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2024.4.28 発行 No.2-26 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 <https://tachikawa-hirotoshi.com> h_tachikawa@tacho-net.com

👤 新年度（令和6年度）のスタートにあたり、皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます！

日頃より、皆様におかれましては、立川ひろとしの活動に対しご理解・ご支援を頂き有難うございます。

令和6年も年始から、様々な行事で皆さんとお会いし交流させて頂き、有難うございました。年明けから近隣で選挙が多く、仲間の応援にも参加しました。1月初旬に不覚にもインフルエンザA型に罹患し、1週間ほど活動自粛することもありました。巷では新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行していることも耳にし、弱毒化したとはいえ、常に注意が必要かなと再認識をしたところであります。

市議会におきましては、令和6年 結城市議会 第1回 定例会が開会され、令和6年度 一般会計・5特別会計・3企業会計 総額 352億 913万 7000円の審査など、重要案件の審査が行われました。

予算審査におきましては、皆さんからのご推薦で 予算特別委員会 委員長を仰せつかり、進行側として取り組ませて頂きました。結城市では市民文化センターアクロスの天井改修、結城南中学校区 新設校建設、都市計画道路3・4・18号線、旧市役所庁舎解体や跡地利用問題、新庁舎の起債償還（借金返済）の開始など、大きな財政出動を伴う課題が山積しており、各議員から一般質問・予算特別委員会にて、厳しい質問、鋭い指摘、工夫して実現を求めるなど、活発な議論がありました。これは、全議員が市政のチェック機関として課題解決に真剣に取り組んでいる表れであり、進行側としての参画でしたので仕方ありませんが、私ももっと発言したかったというもどかしさがありました。

年度が明けて、新しい体制での活動がスタートされたかと思えます。令和6年度も、皆さんと一緒に、様々な課題に元気に取り組んでまいりたいと思えます。



予算特別委員会にて委員長を拝命し進行を仰せつかりました



2024.1 地元稲荷神社で地元の皆さんと年越し



2024.1 インフルエンザA型に罹患してしまいました



2024.1 結城ペタンク協会交流会に参加



2024.1 千鳥会 県内最大の賀詞交歓会に参加



2024.1 取手市議選 同志の応援に参加



2024.1 守谷市議選 同志の応援に参加



2024.2 神栖市議選 同志の応援に参加



2024.2 那珂市議選 同志の応援に参加



2024.2 新川和江 賞 未来を拓く詩のコンクール

👤 コラム：工夫をしながら次世代の子供たちの教育環境構築を！

平成20年4月に茨城県教育委員会から「公立小・中学校の適正規模について」（指針）が出され「小学校では各学年2学級以上となる12学級が望ましい」「中学校では9学級（3クラス×3学年）が望ましい」と示されました

結城市でも、令和3年から学校適正配置の検討が始まり、提言がまとめられ、その内容に基づいて、結城南中学校区の小学校5校の新設統合が進められています。

令和6年2月末、市議会 説明会にて、概算事業費53億円との報告がありました。複数の大型事業の予定や、市役所新庁舎の起債償還（借金返済）などがあるなかで、心配する議員さんから、令和6年度の一般会計予算に対して、新設校計画の見直しを求める付帯意見が提出され、可決されました。

私自身は「令和6年度に新設校建設の予算がないこと」「付帯意見は総額論に基づいて行うのではなく、具体的内容に対して行うべき」との考えで、付帯意見には反対しました。

大規模事業は総額論になりがちですが、財源の確保、見込み額の精査、要求仕様の精査、時期の調整などを行いながら、市の持ち出しを抑える努力や工夫をする取り組みが必要です。物価高騰、人件費高騰、働き方改革に伴う工期増加による経費の増加など、どんな事業においても発生することから事業費の増大は否めない状況にあります。そのような状況で、金額だけの議論になってしまうと、必要性が後回しになることが懸念されます。

また、子供たちに対して、これからの厳しい時代の中で自分の考え方をもって、しっかり自分の道を切り開いて進んでいけるような、次世代を見据えた教育環境をつくっていくことは現世代の私たちが果たすべき役割であり「子供にツケをまわさない」という言葉には、単に借金を次世代に回さないという意味だけでなく「現世代が職責を果たして次世代への贈り物をする」こともあると思っています。

これまで17年、結城市議会議員として活動してきたなかで、市施工 結城南部土地区画整理事業、組合施工 北西部区画整理 3組合への税金投入（借入金の返済支援）による負担の軽減、しるくろーど3階 購入による救済（実際には管理会社の固定資産税 滞納相当額と推測される金額での物納による取得）（私は購入に反対しました）等、大型事業を見てまいりました。北西部・結城南部の区画整理という大きなインフラ投資がひと段落してきたことから、これからは、南に目を向け、南部地域の振興にも取り組んでいく時期と考えます。



茨城県教育委員会HP 公立小・中学校等の適正規模・適正配置



結城市HP 学校再編について



子供にツケをまわさない 私も所属している日本税制改革協議会の理念です



2024.2 茨城県市議会議長会 議員研修会（結城市で開催）



2024.2 ヤマカワフェス 参加 地域の活力を肌で感じる



2024.2 議会情報推進委員会 先進地にて行政視察研修



2024.3 街おこしの活動を視察（真岡市）



2024.3 あくと祭り 参加 4年ぶりの開催で賑わい復活



2024.3 結城市表彰式典 活躍された皆さんに感謝



2024.3 結城中学校 卒業式 未来に向かって元気に！



2024.3 城西小学校 卒業式 中学校でも益々ご活躍を！



2024.3 城西保育所 終了式 友達をたくさん作ってね！

👤 ホームページ・SNSなどのリンク集もご覧ください！

日々、インターネット上のホームページや各種SNSでも活動報告や雑感を掲載しております。一連のページをリンク集としてまとめたものも作っております。新SNS Threads（スレズ）での更新も開始しました。

皆さんお持ちの携帯電話やスマートフォンで、本誌 表ページ 左上のQRコードを読み込んで頂けると、リンク集のページを表示することができます。

是非、ご覧頂けましたら幸いです。宜しくお願いします。





■ 令和6年度 結城市予算が可決

・各会計の内容は以下の通り（単位：千円）

会計区分		令和6年	令和5年	比較増減	
一般会計		20,575,000	18,726,000	1,849,000	
特別会計	国民健康保険	4,732,700	5,021,800	▲ 289,100	
	後期高齢者医療	840,500	728,200	112,300	
	介護保険事業	3,872,000	3,833,100	38,900	
	結城南部第二土地区画整理事業	107,700	74,100	33,600	
	結城南部第三土地区画整理事業	43,300	44,600	▲ 1,300	
	農業集落排水事業	0	126,600	▲ 126,600	
企業会計	水道事業	資本的収支	1,413,083	1,417,391	▲ 4,308
		収益的収支	751,713	717,350	34,363
	公共 下水道事業	資本的収支	1,352,410	1,373,653	▲ 21,243
		収益的収支	1,299,537	1,449,831	▲ 150,294
	農業集落 排水事業	資本的収支	168,220	0	168,220
		収益的収支	52,974	0	52,974
合計		35,209,137	33,512,625	1,696,512	

※令和6年より農業集落排水事業が企業会計へ移行

■ 令和5年度 一般会計 補正予算を承認

① 令和6年2月1日に専決処分された一般会計 1億5390万円の補正予算を承認

※専決処分 … 地方公共団体の議会が議決すべき事項を、地方公共団体の長が代わって処分すること。議会が成立しないときや、緊急性を要し、議会を招集する時間がないときなどに行なう緊急専決処分と、軽易な事項で議会からの委任を受けて行なう委任専決処分がある。

② 内容は以下の通り

・物価高騰対策 重点支援給付金 給付事業 1億5,390.0万円

負担軽減 … 住民税均等割世帯 1世帯あたり10万円を給付
 子供加算 … 住民税均等割世帯・住民税非課税世帯で18歳未満の児童がいる世帯に対して、18歳未満の児童 1人あたり5万円を給付

■ 人事院勧告に伴う期末・勤勉手当の引き上げ

・令和5年8月7日の人事院勧告に伴う改正

① 令和5年4月に遡る給与改定

一般職員の給料月額 平均 1.1% 引き上げ
 一般職員の期末・勤勉手当 年間 4.40月 ⇒ 4.50月
 市長・副市長・教育長・市議会議員の期末手当 年間 3.30月 ⇒ 3.40月

② 会計年度任用職員の給与を、一般職員に準じて令和5年4月に遡って適用

③ 会計年度任用職員に令和6年4月から勤勉手当を支給

■ 妊産婦及び18歳までの小児にかかる医療費の無償化

安心して子育てできる環境づくり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため結城市医療福祉費支給に関する条例を改正し、令和6年10月から妊産婦及び0歳から18歳までの小児にかかる医療費の無償化を実施

■ 結城市市営住宅の設置管理条例の改正（入居資格の緩和）

・入居条件から「結城市内に住所または勤務先を有するもの」を削除
 ・「配偶者からの暴力及び被害者の保護などに関する法律」の改正に伴い、同居親族に係る要件の特例を拡充

■ 学童クラブの増設について

令和6年4月より城西小 第2学童クラブ及び城南小 第2学童クラブを設置

■ 結城市介護保険料の一部改訂

・第9期（令和6年度から令和8年度まで）の第1号被保険者の基本額は年額55,200円（月額4,600円×12か月）

※基本額は第8期（令和3年度から令和5年度まで）から据え置きで変更なし

・現行10段階 → 13段階に改正し、保険料率も所得に応じて改定

■ 結城市副市長・教育長の選任について

・副市長 杉山 順彦（すぎやま みちひこ）さん（大字結城）の再任に同意
 ・教育長 黒田 光浩（くろだ みつひろ）さん（大字粕礼）の再任に同意

■ 令和5年度 一般会計 補正予算を可決

① 一般会計・6特別会計・2企業会計 総額 1億8543万9000円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

・ふるさと結城応援寄付金 記念品	▲	3636.4万円
・能登半島地震 ふるさと納税 代理寄付金		1000.0万円
・減債基金 積立金		5680.0万円
・文化・スポーツ振興基金 積立金		500.0万円
・森林環境譲与税基金 積立金		573.2万円
・生活保護費 国庫負担金 返還金		413.3万円
・戸籍事務 電算システム 改修委託料		343.2万円
・結城市長 選挙費	▲	363.9万円
・結城市議会議員 一般選挙費	▲	768.6万円
・市社会福祉協議会 運営補助金		133.2万円
・国民健康保険特別会計 繰出金		97.5万円
・自立相談支援事業 委託料		67.1万円
・介護保険特別会計 繰出金		166.2万円
・後期高齢者医療 特別会計 繰出金		90.0万円
・少子化対策 医療費		681.0万円
・病児保育 委託料		325.4万円
・病児保育事業 補助金		202.0万円
・障害児 相談支援費		59.7万円
・児童発達 支援費		473.3万円
・市農地流動化 助成金		73.3万円
・二国堰 改修事業 計画策定 委託料	▲	222.2万円
・山川沼地区 県営淡水防除事業 負担金	▲	400.0万円
・幸江崎地区 経営体育成 基盤整備事業 負担金		161.6万円
・武井地区 畑地帯総合整備事業 負担金	▲	4235.4万円
・プレミアム付商品券 販売事業 委託料		9950.0万円
・結城蔵美館 10周年 記念事業 委託料		100.0万円
・地籍測量 委託料	▲	432.0万円
・市道 0109号線 舗装整備・街路灯LED化事業費		4082.5万円
・市道 5234号線 道路改良 事業費	▲	364.3万円
・市道 0115号線 道路改良 事業費	▲	241.8万円
・街なみ整備助成事業 修景施設整備 補助金	▲	113.4万円
・結城南部 第二土地区画整理事業 特別会計 繰出金	▲	21.1万円
・結城南部 第三土地区画整理事業 特別会計 繰出金	▲	336.3万円
・都市計画道路 3・4・18号線 整備事業費（測量調査委託料）	▲	614.7万円
・南部中央公園改修工事		154.4万円
・四ツ京 土地区画整理事業費	▲	608.0万円
・市営住宅 整備工事	▲	265.1万円
・消防ポンプ自動車 購入事業費	▲	129.5万円
・結城小学校 屋外トイレ建設改修工事		784.4万円
・結城西小学 校フェンス改修工事		1262.9万円
・城西小学校 体育館 改修工事		1176.0万円
・結城南中学校区 新設校 建設事業費	▲	5103.4万円
（基本設計・実施設計 委託/測量調査 委託/環境整備実施計画 委託）		
・結城南中学校 校舎改修工事 管理委託料		434.5万円
・結城南中学校 校舎改修工事		2億6649.4万円
・結城南中学校 空調設備 整備工事		848.2万円
・市内 私立 特定教育施設 給付費		1065.3万円
・市外 私立 特定教育施設 給付費		114.8.3万円
・市民文化センター 改修事業費	▲	2億5572.0万円
【南部第二土地区画整理事業】区画道路 整備工事	▲	262.2万円



災害が多いことを心配しながらの編集後記

毎年3月議会は結城紬の振興に寄与することを目的に「紬議会」と位置づけられており、今回も結城紬を着用して初日の本会議に臨みました。

本年1月に能登半島で大きな地震が起きてから3か月が経過しましたが、断水地域が多いことやまだまだ復興道半ばといった報道が続いています。また、4月3日には台湾でも大きな地震があり、亡くなられた方々、被災された方々に心からお悔やみ・お見舞いを申し上げます。



自然災害を完全に防ぐことが出来ない中、日頃からの防災・減災への取り組み、災害発生時にいち早く被災地の復興・復旧が遂げられるような体制作りが必要であることを痛感しております。国・地方自治体・地域が、それぞれ役割分担をしながら取り組み、皆さんと一緒に考えていくことができたらと思っています。



次号は令和6年7月 後援会向けに郵送にて配布予定です！

次号は後援会の皆様向けに郵送でお届け予定です。郵送で届いてない方で、ご覧になりたい方がおられましたらお声掛けください。次号から郵送致します。